

令和6年8月21日（水）
岡谷市基本構想審議会

第2回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

【出席者】

○委員（15名）

有賀 利恵子委員、太田 博久委員、太田 深穂委員、笠原 康弘委員、木下 敏彦委員、
小池 修次委員、小林 妙子委員、高橋 章委員、武井 幸子委員、竹澤 幸男委員、
濱 章義委員、藤森 すず子委員、御子柴 健朗委員、三村 智久委員、横内 文雄委員

（※欠席者…薩摩 建委員、佐藤 一樹委員、中山 昇委員、新田 隆史委員 計 4名）

（事務局）

市長	早出 一真
副市長	藤澤 正
教育長	宮坂 享
企画政策部長	岡本 典幸
総務部長	帯川 豊博
市民環境部長	城田 守
健康福祉部長	小口 邦子
産業振興部長	木下 稔
建設水道部長	仲田 健二
教育部長	白上 淳
教育担当参事	両角 秀孝
議会事務局長	伊藤 恵
岡谷市民病院事務部長	名取 浩
企画課長	荻原 浩樹
企画課統括主幹	清水 亮
企画課主幹	芳沢 幸祐
同主査	藤森 大悟
同主事	小山 健介
地域創生推進課長	日岐 充利
地域創生推進課主幹	八幡 正剛
同主査	矢澤 祐輔

第 2 回岡谷市基本構想審議会 会議録

令和 6 年 8 月 2 1 日（水）
午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 1 時 3 0 分
市 役 所 9 階 大 会 議 室

○市民憲章唱和

1 開会

2 市長あいさつ

本日は大変お忙しい中、今任期最後の岡谷市基本構想審議会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

皆様には、市政運営の基本的な指針であります第 5 次岡谷市総合計画によるまちづくりに対しまして、多大なるお力添えをいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

さて、令和 6 年度は後期基本計画のスタートの年となっております。この後期基本計画をより確実に実施をしていくため、これまでの取組をしっかりと評価・検証をいたしまして、これからの施策・事業に反映をしていかなければならないと考えているところでございます。

本日の会議では、令和 5 年度までの前期基本計画における重要業績評価指標 K P I の達成状況につきまして、ご報告をさせていただいた後、委員の皆様と意見交換を行ってまいりたいと考えております。

委員の皆様には、豊富なご経験や優れたご見識に基づく、ご意見やご助言を賜りますようお願い申し上げます。私からのあいさつとさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

3 会長あいさつ

おはようございます。大変厳しい残暑の中、ご出席いただきましてありがとうございます。これほど暑い中、健康には気を付けていきたいと思っているところでございます。

ただいま早出市長から話がありましたように、私どもの現在の任期は、今月の 2 3 日までとなっております。

今任期、最後の仕事として、前期基本計画の評価の仕事をさせていただくということでございますので、本日は皆さん十分ご意見、ご指摘を賜りまして、無事、最後を飾りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

4 会議事項

副会長（司会）	それでは、これより次第 4 の会議事項に入ります。 「岡谷市総合計画の策定に関する条例施行規則 第 8 条」では「審議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。」と規定されておりますので、ここからの進行は会長にお願いいたします。
---------	--

会長	それでは、議事を進行させていただきます。 会議事項(1)第5次岡谷市総合計画 前期基本計画のまとめについて、事務局より説明をお願いしますが、基本目標ごとに区切っていただいて、委員の皆さんからご質問・ご意見をいただきたいと思います。 それでは説明をお願いします。
事務局	(1)第5次岡谷市総合計画 前期基本計画のまとめについて 資料：第5次岡谷市総合計画～令和5年度進捗状況について～ 資料：【令和5年度進捗状況】第5次岡谷市総合計画 前期基本計画成果指標（K P I） ●基本目標：ともに支えあい、健やかに暮らせるまち (資料に基づき説明)
会長	ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。
委員	避難行動要支援者個別計画登録申請率は、前期基本計画終了時目標値100%に対して、令和5年度まで概ね60%で推移してきています。 この現状に対して、後期基本計画で令和10年度の目標値を再び100%としており、達成できなかった目標について、据え置くことは一つの考え方としてあると思うが、この目標値100%は、5年間の主な取組により可能となる現実的な数値であるのか、また、適切な目標であるのか、考え方をお聞きしたい。
小口健康福祉部長	岡谷市では、これまで区や民生委員などのご協力のもと、対象者には登録勧奨を行い、申請率向上を目指して取組を進めてきております。 新規登録者は増加傾向にあり、令和5年度は106人の登録となりましたが、施設入所や入院、死亡などにより、登録を解除する方は139人となり、申請率がなかなか上がらない状況となっております。 また、未申請者の中には、「自分でなんとか避難できる」、「情報を他人に知られることに抵抗がある」などの理由で、登録を辞退される方も一定数おられます。 100%という目標につきましては、あくまでも防災・減災のために目指すべきものとして設定しておりますが、達成は厳しいと認識はしているところであります。 事業の周知と勧奨を徹底し、少しでも目標値に近づける取組が重要であると考えております。 危機管理室と連携を密にしながら、ケアマネージャー等への事業周知や、家庭介護者慰労金が該当する対象者の方たちとちょうどマッチするため、今年度はそういったところへの通知の中にも案内を入れるほか、出前講座などを通じまして、防災について理解していただくとともに、申請率の向上に努め、有事における支え合いの仕組みを充実してまいりたいと考えております。
委員	ご説明ありがとうございました。 今後の目標値も同じように100%ということで設定しておるんですが、K P I 自体が中間的な指標として評価するためのものという一般的な考え方があると思います。100%だと現実的になかなか難しい、未達成になってしまうのかなと思われそうですので、職員のことも考えてもう少し現実的な数字でもいいのかなと感じたところでございます。

	100%というような数字によらないまでも、前年度比1%、2%増というような形の考え方もできるかなと思いますので、またご検討いただきたいと思います。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	避難行動要支援者個別計画登録申請率の分母と分子の人数を教えてください。
小口健康福祉部長	個別計画の登録申請率の分母と分子の数ということで、数字を申し上げます。 まず、分母が1,289名。そして、分子が個別計画の申請者ということで784名となっております。
委員	目標値100%という設定の意思は十分にわかりますが、目標との乖離があるということもわかりますので、もう1歩、避難行動要支援の実態からすれば、この分母の部分を、例えば、障がい者とかの括りの中にプラスして85歳以上の世帯を加えとか、いわゆる岡谷市独自の避難行動要支援の形を検討していただく時期だと私自身は考えます。 そうすれば、少しずつその目標の意味が数字に表れてくるような気がしますので、ご検討いただければと思います。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	要介護認定率が右肩上がりですが、他の行政区（国、県、他の市町村）と比較して岡谷市はいかがでしょう。
小口健康福祉部長	令和5年度末における本市の認定率18.51%のところ、厚生労働省による暫定の数値でございますが、全国平均については19.74%となっており、こちらよりは岡谷市は下回っているという状態です。また長野県については、17.44%ですので、長野県と全国の間ぐらいの数値となっています。 諏訪圏域の中で見ますと、諏訪市、茅野市よりは高い状況でございます。 また、圏域の6市町村の中では、下諏訪町に次いで2番目に高い認定率となっております。 この状況につきまして、介護保険が高齢者やその家族を支える上で欠かせない制度として定着してきたということを感じております。 また、認定率の中には、要支援1、2も含まれており、地域包括支援センターの機能の成果や、民生委員の皆様、地域の皆様にお力添えをいただいていることで、真にサービスが必要な方への早い段階からの認定に繋がっているという面もあると認識をしているところでございます。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。 （質問等なし） では次の基本目標に移らせていただきます。事務局お願いします。
事務局	●基本目標：未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち （資料に基づき説明）

会長	ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。
委員	蚕糸博物館入場者数は8/22～の企画展に期待しています。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	政策6 スポーツ・文化の振興について、参加者の増加を図るため、市民へのPRの増強を行うことが必要と考えて提案させていただきたい。 まず、市内の団体の活動状況を調査し、どのようなことが、いつどこで実施されているのかを集計する必要があると考えます。公民館、各区、施設等での実施状況を確認し、活動団体から市に報告ができる体制をつくっていただきたい。 また、広報等で市民に知らせる際には、定期的に興味を引く記事を掲載するほか、活動等に興味を持った市民が問合せ・参加ができるように連絡先を明記するようお願いしたい。
岡本企画政策部長	まず1つ目の市内団体の活動状況調査でございます。 スポーツ・文化・芸術活動を行っております団体の把握につきましては、市が所有する施設においては、いつ、どの施設を、どの団体が利用したのかという状況は各施設で把握しているところでございます。 市の所有施設以外の利用状況であったり、市の施設を利用しておらず、行政が関与してしない団体については把握できてないのが現状でございます。 文化・芸術団体といっても分野が多岐にわたりますので、今後、関係する部署で、委員さんからの意見を踏まえまして、考えてまいりたいと思います。 2つ目の広報等での周知でございます。 現在、年1回は広報おかやにて、カルチャーセンターや公民館における学習グループの紹介を行っているところでございます。 各グループの連絡先等の掲載はしておりませんが、今後、より効果的に市民に興味を持っていただけるような特集記事を企画するとともに、興味を持った市民が広報を入口として参加できるよう、市民目線に立った編集に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
委員	今ご説明いただいたとおりだと思います。今以上に市民のところへ情報を届けるという策を、もう一步やっていただくと、参加者が増えると思います。 そして、岡谷市でどんな文化・スポーツの関係団体が動いているかということは、やっぱり市の方で集約をして、こんな団体がこんな活動をしているんだよというようなことを把握していただく必要があると思います。 そのような部署はあるのでしょうか。
岡本企画政策部長	集約をしてまとめている部署はありませんが、それぞれ施設担当課等に取りまとめをしているところでございます。
委員	もしできれば、その時点で、スポーツの関係ではこんな団体が活動しているとか、文化の関係ではこういう活動が行われているといった、色々な情報をどこかでまとめて1回広報に上げていただくと、もう少し市民が興味を示すという部分があると考えますので、ご検討いただきたいと思います。

会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。 (質問等なし) では次の基本目標に移らせていただきます。事務局お願いします。
事務局	●基本目標：人が集い、にぎわいと活力あふれるまち (資料に基づき説明)
会長	ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。
委員	成果指標「遊休農地面積」について、令和５年度の実績１６．９ｈａを踏まえ、令和１０年度の目標値を修正してもよいと思いますがいかがでしょうか。
木下産業振興部長	今回の目標値は、令和４年度の実績値を採用したのですが、ご指摘のとおり令和５年度の実績が１６．９ｈａと大幅に増加してしまいました。 様々な要素等を考慮しまして、事業に取り組む中で、変更する必要があるという場合には、本審議会にお諮りをさせていただきたいと考えております。よろしく願いいたします。
委員	わかりました。 達成率が約４０％と大変低かったので質問させていただきましたが、今後、修正の余地があるということですので、ご検討をお願いいたします。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	成果指標「観光客数」について、１００人単位まで把握されているが、どのようにカウントされているのでしょうか。 また、市外の方に限定したカウントか、それとも市内の方も含めた利用者をカウントしているのか教えていただきたい。
木下産業振興部長	成果指標である観光客数は、長野県観光地利用者統計調査の結果を引用させていただいております。本調査は、要綱等に基づいて１００人単位の集計になってございます。 また、観光客数は、岡谷市内で実施されたイベントや観光施設等の入場者数のほか、イベント時の駐車場使用台数などから推計した数値が根拠となっております。 なお、観光客数は市民も含めたカウントとなっております。
委員	前回の会議でも質問させていただいたんですが、今ひとつ納得がいかなかったんで、改めて質問させていただきました。 実際には、この統計を見ると、観光地利用者統計ですので、観光客ではなく、観光地利用者というのが正しい言い方ではないかと思います。観光地利用者数ということであれば、県外であろうと、市外であろうと市内であろうと、とにかく利用しているという点で数字と項目の整合性がとれると思います。 それと、平日どうやってカウントするのかというところで、この長野県観光地の統計調査は、どこが資料を出して、どうするのかというわからないところがあります。

	ただ、観光客はやはりカウントしづらいんだろうというのは、もともとあるので、そういう意味で100人単位までカウントしているというところは、どうしてなんだろうという疑問が実はあったというところですよ。 ですので、御野立公園、それからやまびこ公園で定点チェックをやるというのはいいとして、利用者数という言い方が正しいのではないかとこのところでございます。
木下産業振興部長	委員さんご指摘のとおり、長野県では観光地利用者数という統計調査結果を発表しております。 それを本市のK P Iでは、観光客数というような言い方に置き換えておりますので、今後、そういった表現につきましては、検討させていただきたいと思います。 また、施設利用の部分につきましては実数カウントできますが、イベント等はなかなか難しいため、駐車台数から、車のサイズによって仮定の数字を置きまして、推計をとっております。こちらにつきましても、国土交通省観光庁の調査要綱などに基づいた調査、県の要綱の調査の算出という形になっておりますので、今後、よりK P Iとしてふさわしい形になるような形で検討させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
副会長	やまびこ公園のことで苦言です。 千葉の孫が来て、8月の初めにやまびこ公園に行ったんですけども、ボブスレーは故障している。レストランはやっていない。それから山道の土留めの丸太が雨のためだと思うが外れていました。 利用している方も本当に閑古鳥が鳴くみたいで、やまびこ公園ってこうなってしまったのかと思いました。 昔、私の子供を遊ばせたときには、木の綱渡りとか山遊びを楽しむものがあつたんですが、それもたぶん木が腐って壊してしまってたので、観光客ということではないかもしれませんが、ちょっとびっくりしました。 今後、子どもたちのためにも、観光のためにも、もう少し見直していただいた方がいいのではないかと思います。 ボブスレーは、壊れていつ直るかわからないと看板には書いてありましたが、実際にそこまで行って初めてわかったのも、そういう状況であれば、入口のところに「ボブスレーに関しては今故障中です」といった案内が欲しいですと事務の方に言ったところ、「わかりました。ちょっと考えます。」という受け答えで、うるさいおばさんだと思われたんだなと思ってショックでした。 そんなことがありましたので、皆さんもやまびこ公園に行ってみてください。
会長	うちの孫もやまびこ公園に行ったら、ボブスレーが動いてなくて、悲しんで帰ってきました。
仲田建設水道部長	申し訳ありませんでした。 公園利用者にとっては夏の一番いい時期だと思います。しっかりと利用者を迎え入れられるように適正な管理を徹底してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。 (質問等なし) では次の基本目標に移らせていただきます。事務局お願いします。
事務局	●基本目標：安全・安心で、自然環境と共生するまち (資料に基づき説明)
会長	ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。
委員	成果指標「消防団団員数(18～30歳)」について、高い志と訓練がなければ団員になれないでしょうか。準団員とかでアルバイト的にできることはないでしょうか。
帯川総務部長	消防団員につきましては、生業を持ちながら「自らの地域は自ら守る」という郷土愛の精神に基づきまして、地域の安全・安心の暮らしを確保するために、消火活動をはじめ、多発・激甚化する自然災害などにおきまして、献身的に活動を行っていただいているところでございます。 入団の入口につきましては、それぞれ思いがありまして、一概にこうあるべきという限定はできませんけれども、消防団は多種多様な資機材を活用して災害対応をしていることから、自身の身を守ることを含めまして訓練は必要不可欠であると考えてございます。 また、安全確保や指揮命令系統の確立の観点から、一定の訓練を受けた団員でなければ、活動は困難でないかと考えているところであります。 しかし、引き続き、団員確保につきましては、消防団の皆様と意見交換をしながら、確保に向けて取組を進めてまいりたいと考えてございます。よろしく願いいたします。
委員	ありがとうございます。 少し考えると、もし近所で何かあれば団員じゃなくても、駆け付けたいと思います。 この道は通れませんか、交通状況の案内とか、訓練していなくてもできることがあれば、何かお役に立てることがあればいいと思っの要望です。仕事を持っているとやっぱり無理なことも多いと思うのですが、やはり難しいですね。 同じ未達成でも、達成率が90%以上のものもある中で、この項目のように30%台はさすがに低いと思い、もっと増やすにはどうすればいいかということで考えさせていただきました。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	成果指標(KPI)「1人1日当たりの燃やすごみ排出量」の表現は、「1人1日」ではなく、個別計画の環境基本計画と整合させて、「一人1日」の方が良い。今後、各種計画等とも語句を含めた整合をしっかりと図っていただきたい。 また、「1人1日」と表現されると、市民は自分の生活にあわせて考えると思うが、ここには事業系の排出量も含まれているので、事業系を抜いた表現にできないかと思います。

城田市民環境部長	後期基本計画の中では、家庭系と事業系ということで、分けて示させていただいております。 家庭系については、分別回収等していただく中で、少なくなっている部分ございますが、事業系については、これまでコロナ禍の中で事業が停滞した部分を考慮すると、今後増えていくだろうと考えております。 そのような中ではありますが、企業さんにもご努力いただかなければいけないということで、このように家庭系・事業系をそれぞれ示させていただいておりますので、ご理解いただければと思います。 また、参考に、令和5年度の586.4gの内訳をご説明いたしますと、このうち家庭系が390.1g、事業系が196.3gとなっておりますので、よろしくお願いいたします
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	消防団の団員数のところで、指標を18歳から30歳というように年齢を区切っているわけですが、私も10年前に消防団に関わっていた経験で、30歳を過ぎて入団をしていただくという団員さんもいるわけで、そういう人たちはこの指標の中に入れないといけないと思っており、年齢を区切らずに、現有の団員数に対して、どのくらい増員しているかという見方の方がいいのではないかと思います。 むしろ、18歳から30歳というところで区切ってしまうと、どんどん減っていく一方という感じになってくるので、そうではなくて、団員数の規模がどう増えたかという手法の方が目標に対してどのくらいアプローチできたかという張り合いができるのではないかと思います。
帯川総務部長	若い人の活動の部分で若い団員確保というところを今回指標にさせていただいているところでございます。 委員さんがおっしゃるとおり、団員の確保が難しい中で、一度引退されてもう一度入っていただくような方、機能別団員という形で日中活動ができる方のほか、勤務地の団員など、様々な活動をしているところでございますので、全体的に見る中で、ご意見としていただきながら、検討してまいりたいと考えてございます。ありがとうございます。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。 (質問等なし) では次の基本目標に移らせていただきます。事務局お願いします。
事務局	●基本目標：快適な生活を支え、住み続けたいまち (資料に基づき説明)
会長	ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。
委員	「岡谷駅周辺のまちづくり」は、さまざまな考えを見聞きし、共有したいところであります。
岡本企画政策部長	多くの市民の皆様の考えをお聴きしたいため、今年度実施しております市民アンケートの中で、岡谷駅周辺整備に関する設問を設けております。 また、市のホームページへ、岡谷駅周辺整備に対する市民の皆さんの意

	見や要望を受け付けるための投稿サイトも開設いたしたところでございます。 そのほか、地域の子育て集会など、市民の皆様が集う場所にお伺いをさせていただきまして、直接、市民の皆様の駅周辺整備の思いを聞かせていただきたいと考えているところでございます。 広報おかや7月号で、「みんなで考えよう 岡谷駅周辺のまちづくり」と題しまして特集記事を掲載し、これまでの経過や今後のまちづくりの進め方を市民の皆様にお知らせさせていただいたほか、今年度実施しております岡谷駅周辺整備検討調査事業の進捗状況などにつきましても、市のホームページへ随時掲載をしていくなどの情報発信を行い、市民の皆さんと情報を共有していきたいと考えているところでございますので、よろしくお願いいたします。
委員	ありがとうございました。 市報につきましては、本当にわかりやすくなって、大変ありがたいと思います。 また、ホームページにつきましては、これまで自分に必要なことしか見てなかったのが、今後はしっかりと見ていきたいと思います。ありがとうございました。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。 (質問等なし) では次をお願いします。
事務局	●基本目標：みんなでつくる、確かな未来を拓くまち ●進捗状況の総括 ●岡谷市の人口について (資料に基づき説明)
会長	ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。
委員	区への加入率が減少しているが、特に各区に対し依頼していることがありますか。また、区長会などで議論されたことはありますか。
岡本企画政策部長	区への加入率につきましては、コミュニティ活動への関心の低下などによりまして、減少を続けているところでございます。 市から各区に対しまして依頼していることは特になく、また、区長会で議題になったということも特段ございません。ただ、一部の区長さんから区へなかなか加入してもらえないという相談を受けたところでございます。 市といたしましては、区長会と協力いたしまして、「自治会へ入ろう！」というチラシを作成し、区へ入ることのメリットをお伝えし、転入した方へお配りをしているところでございます。 また、合わせまして、本人の了承を得られた場合には、転入者の連絡先を区へお伝えし、区との連絡がスムーズにできるようにしているところでございます。 区は市と対等なパートナーでございますし、地域住民のコミュニティ活動の中心となって活動いただいている大切な存在でございます。

	区への加入は住民にとりまして、災害時の対応や地域の子育て、生活環境の維持改善、地区行事への参加など、大きなメリットがございます。引き続き、区への加入促進に取り組んでまいりたいと考えているところでございます。
委員	区への加入率がだんだん低減している状況であります。 人口も減少しており、なおかつ加入率が低減しているということは、地域の活動自体が本当に難しくなっているということでもあります。 21区あって、それぞれ特徴がありますが、行政の方から区の方へ具体的な策を投げかけるとか、あるいは区長会でこういうテーマで何か討議したことはありませんか。
会長	区長会でも話題にはなりますが、やはり策がなかなかない状況です。 今、身に染みて困っているのは、市から行政交付金をいただいていますけれども、どんどん区の人数が減っているの、区への行政交付金まで同じく減っていったら困るなど思っており、今、その対策を近々市にお願いしていこうという話があります。そんな状況です。
委員	できれば何か具体的な時代に合わせた動きとか、何かしてもいいと思っております。 例えばの話、区によって人口が大きく乖離しております。例えば、東堀だったら8,000人いるが、小口はどのぐらいだということになると、そろそろ時代的に合併じゃないけれども、合理化というかそういったものを考えていく時期かと思えます。 すぐやれという話ではないですけれども、今後のシミュレーションも検討していく時期、その中で何か策ができるのかなということでもあります。 実際問題、防災のときには区に参加していないと困りますので、非常に難しい部分ではありますが、やはり区への加入率は90%とかにしていかなければいけないような気がします。 ぜひ何か具体的な、奇抜な策がないものかと思えます。よろしくお願いします。
会長	私からも質問をさせていただきます。 「財政調整基金及び減債基金残高」が目標を超えているのに、市債を減債しなかった意図はどういったものでしょうか。また、「財政調整基金及び減債基金残高」を40億円にする目的についても教えていただきたい。
帯川総務部長	令和5年度の市債におきましては、基金を取り崩して減債することは行っておりませんが、交付税措置のない市債につきまして、借入を取り止めて、市債残高の圧縮を図っているところでございます。 これまで低金利で借入が行われておりましたけれども、金利の引き上げ局面に移行してございまして、令和5年度も市債の借入の利率が上がってきているという状況でございます。 現状におきましては、まだ低金利ととらえておりますので、今後の大型事業に伴う借入や金利の上昇に備えまして、令和5年度では減債せずに、積立を行うこととしたものでございます。 市債は一度に多額の出費を必要とする事業の財源確保とともに、財政負担の平準化や世代間の住民負担を公平にするという役割も持っておりますので、決算状況などを総合的に判断する中で、引き続き、減債に向けた検討を進めてまいりたいと考えております。

	また、後期基本計画における令和１０年度の財政調整基金と減債基金の残高の目標４０億円でございますけれども、本市の予算規模や災害、あるいは経済事情の著しい変化によります財政不足に備えて、安定した財政運営を行うために必要な額として令和４年度末の残高を参考にする中で設定したものでございます。 令和５年度末の両基金の合計額における住民１人あたりの残高は、１９市中１２位という状況でありますので、引き続き、基金への積立を行いながら、目標達成に向けて取り組んでまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	基本的に令和４年度の数値等を起点に、前期の傾向なども踏まえ、後期基本計画における令和１０年度の目標値が設定されていると思います。 タイムラグがあるので仕方がない部分もありますが、のちに令和５年度の値が、すでに令和１０年度終了時点の目標値を達成しているものについて、変更等をかけるのか、基本的な考え方をお聞きしたい。
岡本企画政策部長	後期基本計画で設定しております各成果指標ＫＰＩにつきましては、様々な要素によりまして増減することが考えられますが、あくまで令和１０年度終了時点での達成を目指しているものでございます。 したがって、令和５年度の実績値が、後期基本計画で設定している目標値を達成しているということだけを理由に変更するということは考えておりませんが、今後、様々な要素を考慮いたしまして、変更することが必要と判断した場合には、この審議会にお諮りをして、変更を考えていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
委員	第５次岡谷市総合計画前期基本計画におけるＫＰＩの達成率８０％以上が約７０％というのはとても良いと思います。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。 (質問等なし) では次に移ります。 会議事項(２)デジタル田園都市国家構想交付金充当事業の執行状況について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(２)デジタル田園都市国家構想交付金充当事業（地方創生推進タイプ）の執行状況について 資料：デジタル田園都市国家構想交付金充当事業（地方創生推進タイプ）の執行状況について (資料に基づき説明)
会長	それでは、質問・ご意見がありましたらお願いします。
委員	資料１１ページの①オール岡谷産シルクを活用したサービス・製品の販売価格の単位がわかんないのですが、これ単位は万円になっていますが、

	計画のところは、千円でしょうか。これも万円でしょうか。 事業費が9, 507, 000円に対する目標値の単位が万円だと違和感がありまして、単位の見方を教えてください。
日岐地域創生推進課長	①の上段：計画の数値ですが、令和3年度は100万円です。追加で令和4年度は2, 000万円という形になっております。 当初、大きな目標値でございましたけれども、シルクの復活を求め、国から補助金をもらって増やしていこうという、大きな目標を立てさせていただきました。 しかしながら、なかなか繭の確保ができなかったことと、もともと市内にはシルクを使って製品を加工される企業がなかったものですから、なんとか増やそうと努力しましたが、今回そこまで至らず、結果として、K P Iの結果はかなりひどいものになってしまいました。 ただ、②シルクを活かしたサービス・製品の開発件数とありますが、製品化に取り組む事業者が増えてきましたので、今後そういった関係の企業さんが活躍していただくことを、期待しているところでございます。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。 (質問等なし) 以上で本日の会議事項は終了になります。 どうもありがとうございました。
副会長(司会)	会長ありがとうございました。 それでは、全体を通して委員の皆様から何かありますでしょうか。 (発言なし) そのほか、事務局から連絡事項等ありますでしょうか。
早出市長	長時間にわたり大変ありがとうございました。一言御礼のあいさつをさせていただきますと思っております。 委員の皆様には、第5次岡谷市総合計画の進捗管理に加えまして、昨年度の後期基本計画の策定におきましては、大変タイトなスケジュールの中、慎重なご審議と貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。 本審議会の委員を継続してお務めいただく皆様につきましては、引き続きのご尽力をどうぞよろしくお願いいたします。 そして、本日最後のご出席となる委員の皆様につきましては、今後もそれぞれのお立場で、岡谷市の発展、そして将来都市像の実現に向けまして、ご尽力をいただきたいと思いますところでございます。 本日は誠にありがとうございました。
副会長(司会)	そのほか、事務局から連絡事項等ありますでしょうか。
事務局	第3回の基本構想審議会につきまして、ご案内をさせていただきます。 すでに各団体の皆様から8月24日からの任期となります新委員のご推薦をいただいております。 推薦された方に対しましては案内をお送りさせていただき、ご出欠のご

	報告をいただいているところであります。 第3回基本構想審議会は、来週の28日（水）10時から9階大会議室で開催をいたします。 内容としましては、委嘱書交付及び正副会長の選出を予定しております。 会議終了後に新任委員の皆様及び希望する委員の皆様を対象といたしまして、本市議会及び第5次岡谷市総合計画などについての勉強会を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。
副会長（司会）	ありがとうございました。 それでは、閉会の挨拶を副会長お願いいたします。
副会長	それでは以上をもちまして、令和6年度第2回岡谷市基本構想審議会を閉会といたします。皆様、2年間大変お疲れ様でした。